

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基本技術論 I (安全と安楽・環境調整)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	入澤 与子 他	実務経験と その関連資格	総合病院にて外科・救急病棟に看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》 看護技術のうち、その根底となる安全・安楽の技術の概要と具体的方法について学ぶ。また、人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助に関わる援助方法の基本について学ぶ。人間にとっての環境の意味を理解して、健康的な生活環境を整えるための援助方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》 1. 筆記試験(80%) 2. 実技試験(10%) 3. レポート課題(10%) 1・2の割合は授業開講時に説明する 授業・演習などの詳細は授業時に説明を行う						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術I 医学書院 系統看護学講座 専門分野3 基礎看護技術II 医学書院 看護技術がみえる 臨床看護技術 ① メディックメディア 看護技術がみえる 臨床看護技術 ② メディックメディア						
《授業外における学習方法》 ・事前学習(ワークシート) ・授業前の小テストを実施するので復習をしておく						
《履修に当たっての留意点》 コミュニケーションは看護援助の基本一言語的・非言語的な表現の大切さを理解し、実践的な表現能力を身につけてほしい。 感染予防における看護師の知識と基本的態度・技術を理解し看護実践に役立ててください。また、患者への配慮についても学んで欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護技術とは何かをイメージできる。 医療におけるコミュニケーションの目的や特徴が説明できる。	教科書	「コミュニケーションとは何か」を考えてくる。	
		各コマにおける授業予定	看護技術とは コミュニケーションの意義と目的、構成要素			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的な関係構築のためのコミュニケーションについて説明できる。	教科書	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	関係構築のためのコミュニケーションの基本			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション障害がある人の特徴とコミュニケーションについて説明できる。	教科書	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション障害がある人の特徴 コミュニケーション障害がある人への対応について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技術の展開を通して、自分らしさの気づきを深める。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション技術の展開(ロールプレイ)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染予防の意義と目的、看護師の責任と役割を説明することができる。	教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	感染防止の技術			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染予防の方法が実施することができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	安全確保の技術・手指衛生感染予防の実際		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染予防の実際と滅菌物取り扱いを実施することができる。	教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	滅菌ガウン・手袋着脱演習、鑷子取り扱い、個人防護用具着脱演習		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	滅菌物の取り扱いを説明することができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること。 演習ワークシート追加・修正
		各コマにおける授業予定	感染予防の原則とその種類・方法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽な病床環境を整える必要性や意義を説明することができる	教科書	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	病床環境の援助に関する基礎的知識		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽な病床環境を説明することができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	リネン類のたたみ方、シーツの作り方		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間を取り巻く環境や健康な生活環境を理解することができる。	教科書・DVD	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	環境調整のアセスメント、ベッドメイキングとは		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	病床環境を安全・安楽に配慮して整えることができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること (ワークシート)
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング演習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽な病床環境を整える援助が実施することができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること。 演習ワークシート追加・修正
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング演習		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽な病床環境を整える援助が実施することができる。	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること。 演習ワークシート追加・修正
		各コマにおける授業予定	臥床患者のシーツ交換演習		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	援助技術を実施するための根拠となる知識について記述できる	教科書・演習要綱 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること。 演習ワークシート追加・修正
		各コマにおける授業予定	まとめ		